

次号予告

特集 自然言語とコンピュータ

自然言語処理と系列ラベリング技術	浅原正幸 (奈良先端科学技術大学院大学)
統計的統語解析	松本裕治 (奈良先端科学技術大学院大学)
統計的機械翻訳	永田昌明 (N T T)
共起に基づく類似性尺度	相澤彰子 (国立情報学研究所)
言語処理を利用した知的情報アクセス—検索, 抽出, 要約, 分類, QA—	徳永健伸 (東京工業大学)
頻出言語パターンのマイニング技術とその応用	工藤 拓 (グーグル)

編集後記

- 普段に何気なく PC を使っていますが、あらためて考えますと、一昔前のスーパーコンピュータに匹敵する性能をもっていることに驚きます。単純な CPU のクロック周波数の向上が頭打ちになり、新たな性能向上に並列コンピューティングが使われるようになってきました。そのため、PC クラスタやグリッドといったシステムを普通の人でも使えるようになりつつあります。今回ご寄稿いただいた論文でも、これらの手法を用いて、これまでできなかった OR の様々な問題へのアプローチが行われています。
- こうした並列コンピューティングの手法は、「(あきらめていた) より大きな問題を解く」、「より多くの問題を解く」といった使われ方をするのだと思います。

しかし「より大きな問題を解く」といっても、最適化問題のように指数関数的に計算量が増えるようなものに対しては、少しずつ大きな問題に適用していく、というのが現状のようです。全く別のアプローチとして、量子の重ね合わせを用いて並列計算する量子コンピュータというものがあると聞きます。実際、組合せ最適化問題について研究が進められているようです。

- また、実行に数ヶ月単位でかかる大規模計算に対して、数10分~数日といった規模の、システムシミュレーションにも有効な手法ではないでしょうか。パラメータケーススタディは並列化が可能ですので、「より多くのパラメータケース」、「より精度の高いモデル化」といった拡張を行うことができると思います。

(齋藤彰一)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明(首都大学東京)

委員 池上敦子(成蹊大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム(株)), 栗田佳文(防衛省), 高野正次(日本電信電話(株)), 齋藤彰一(株構造計画研究所), 高嶋隆太(東京大学), 高橋一喜(東京ガス(株)), 田島博之(秀明大学), 田村一軌(財鉄道総合技術研究所), 田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ(株)), 豊泉 洋(早稲田大学), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(順天堂大学), 増田浩通(東京工業大学), 村井雅彦(株東芝), 渡邊 勇(財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 19 年 10 月号 第 52 卷 第 10 号 通巻 562 号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下英明

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

- 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

- 本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ